

業種確認・売上高計算書

記載例

5号-(イ)-① (特殊事情)

■業種確認

- ・記入例をご確認のうえ記載ください。
- ・今現在行っているすべての事業が「指定業種」に属するか確認のうえ、業種別にご記入ください。
- ・事業実態と記載の業種が異なる場合、融資が受けられないことがあります。

業種名	具体的な事業内容	日本標準産業分類	
		細分類番号	細分類業種名
飲食業	〇〇で居酒屋を経営。店名は「大崎酒場」。	7651	酒場、ビヤガーデン
不動産業	アパートを2棟(〇〇と〇〇)所有。全部で24部屋。うち20部屋賃貸中。	6921	貸家業
	太枠に最近1年間で最も売上高等が大きい業種を記入してください。		

※取り扱っている製品・商品・サービスなど事業内容をホームページなど)もあわせてご提出ください。

●日本標準産業分類は、「政府統計の総合窓口」よりご確認ください。

<https://www.e-stat.go.jp/classifications/terms/10>

●指定業種は、中小企業庁ホームページよりご確認ください。

https://www.chusho.meti.go.jp/kinyu/sefu_net_5gou.html

■売上高計算書

A : 申込時点における最近3か月間の売上高等

	令和6 年 9 月	令和6 年 10 月	令和6 年 11 月	3か月間の合計
企業全体	3,000 千円	2,800 千円	2,600 千円	8,400 千円【A】

災害等の特殊事情の影響を受けた年月： 令和 2 年 2 月

(特殊事情の内容： 新型コロナウイルス感染症の影響により不動産業では空室の増加、飲食業では営業時間の短縮・外出自粛に伴い売上高が減少した。)

ア : Aの期間に対応する前年同期の3か月間の売上高等

	令和5 年 9 月	令和5 年 10 月	令和5 年 11 月	3か月間の合計
企業全体	3,100 千円	2,500 千円	2,700 千円	8,300 千円【ア】

イ : 特殊事情が発生した事業年度又は特殊事情が発生する直前の事業年度の決算の売上高等

決算期： 令和 2 年 3 月

	売上高等合計	売上高等月平均
企業全体	43,800 千円	3,650 千円【イ】

前年同期の企業全体の売上高等の減少率(特殊事情が発生した事業年度又は特殊事情が発生する直前の事業年度比)

$$(イ - ア / 3) \div イ \times 100 = 24.2 \% \geq 20 \%$$

B : Aの期間に対応する災害等の特殊事情の影響を受ける直前同期の3か月間の売上高等

	令和1 年 9 月	令和1 年 10 月	令和1 年 11 月	3か月間の合計
企業全体	4,300 千円	3,500 千円	3,600 千円	11,400 千円【B】

※Bの期間～直近月までの売上高等の証拠資料(売上台帳、法人事業概況説明書、試算表等の写し)を提出してください。

売上高等の減少率

$$(B - A) \div B \times 100 = 26.3 \% \geq 5 \%$$

上記各項目に記載の金額は、当社の売上高等と相違ありません。

令和 6 年 12 月 1 日

(申請者)

名 称 株式会社おおさき

代表者 代表取締役 大崎 太郎